



蓮根小コミュニティ・スクール【iCS 便り】

—令和 6 年度 Vol.5—



今年度も残り 1 ヶ月となりました。来年度の目標等を考える時期になりましたが、お子さまの様子はいかがでしょうか。令和 7 年 2 月 15 日(土)、今年度の最後となる第 5 回コミュニティ・スクール委員会（CS 委員会）が開催されましたので、以下にその議事概要をご報告します。

<学校・地域コーディネーターからの報告／3 学期の様子について>

- 「3 つのあ」…今年度の大きな目標である「あいさつ・あつまり・あるきかた」への取り組みは、校外学習、交流活動、学級活動を通じ改善傾向にあると感じている。ご家庭や地域のサポートにも感謝したい（校長）。
- CS 委員会の熟議でも取り上げた「教室に入ることが難しい児童の居場所づくり」については、校長室で学習支援員（大学生 2 名、社会人 1 名）が毎週火曜日と水曜日に対応している。また、オンライン授業を含めて個別対応が必要な児童は相応数いるが、年度初めより学校への登校数は増えている（校長）。
- 1 月 25 日(土)に漢字検定を実施。本日、保護者が講師役を務め、6 年生を対象としたキャリア教育授業を実施する（地域コーディネーター）。

<令和 6 年度学校関係者評価および令和 7 年度の計画について>

- 「板橋区立学校経営計画表・自己評価表・学校関係者評価表」を板橋区教育委員会に提出するにあたり、CS 委員にも学校関係者としての評価とコメントが求められている（提出期限：2 月 27 日(木)）。
- 児童の学習や教員の働き方改革等については、教員と個人面談を通じて目標や取り組みなどの話し合いを実施しているが、年度の開始時期、年度末にはどうしても時間外勤務が増加傾向にある。また、教員不足のために、専科の教員や副校長までクラス担任を務めているのが現状となっている（校長）。
- 学習指導方法の改善にあたっては、板橋区授業スタンダードに加え、+S（Self、Select）の指導を進めている＝自分の課題に合った各自の最適な方法による学習の推進（校長）。
- 地域との連携を通じて「いたばしを語れる子」の育成を目指しているが、子どもたちの地域イベントへの参加率は低調となっており、子どもたちが直に地域の方と話せる環境づくりを目指したいと考えている（校長）。
- 令和 7 年度の CS 委員会は、教員や児童との熟議・交流の活性化を目指していて、平日午後 5 回の開催を予定している（CS 委員は委員会に出席可能な人を校長が推薦する）（校長）。

<CS 委員からの意見等>

- 地域の例大祭等には、蓮根小の校庭を利用している野球やサッカークラブの子どもたちや指導者にも参加してほしいので、今後、町会としても一層の呼びかけを行いたい（CS 委員：蓮根坂下三丁目町会長）
- 前任学校長時代より地域のスポーツクラブから検討依頼されている、蓮根小校庭のバスケットボールゴールの移動要請について、学校としてはどのように考えているのか（CS 委員：PTA 会長）
→学校施設はスポーツ振興法に基づき、学校教育に支障のない範囲で一般利用を認めている。日常の休み時間等に実際に利用している児童の意見なども確認の上で回答させていただきたい（校長）。
- 来年度の予定は、はすねっ子クラブ（キャンプ等）との調整もお願いしたい（CS 委員：おやじの会会長）。

以上



【蓮根小 CS 事務局】

長山 峰大 細矢 美紀 熊谷 弘昭

連絡先：hasunecs@gmail.com

蓮根小コミュニティ・スクールに対する皆さまのご意見等をお知らせください



Gmail アドレス